

連絡会ニュース

子どもと教育・くらしを守る広島県立学校教職員連絡会

No.1337 2025/06/05 (THU)

発行 広島高校連絡会事務局

Email renraku-kuko@mx6.tiki.ne.jp

HP <http://ww6.tiki.ne.jp/~renraku-kuko/>

携帯 090-1180-7644 (村井義幸)

090-9738-8264 (望月照巳)

あらためて「豊かさ」とは何か？

～新「人権宣言」：暉峻淑子 97歳の闘い～



気合で生きる 百歳まで闘える！

先週号の「六文銭」に、次のように書いた。「『社会福祉全国会議』総会での記念講演が暉峻淑子さんと出ていたので、総会は委任状を出して、記念講演をズームで拝聴した▼まずびっくりしたのは97歳というお歳と、しっかりとした熱のこもったしゃべり口で、百歳まで(わたしたちも)闘えるのだと、本当に確信した」。そして、数日後にその全国会議事務局から届いたメールを観て再び感動しました。



自宅についたら、そのまま倒れこんで、翌日の夜まで昏々と眠りました

2025 社会福祉経営トップセミナーにご参加の皆様

先日は、2025 社会福祉経営トップセミナーにご参加をいただきありがとうございました。講師の暉峻淑子先生から心あたまる励ましのメッセージをいただきましたのでご紹介いたします。お礼のメールをお送りし、そのお返事の中からの抜粋です。
「帰りの新幹線に乗ったら、途端に緊張が解けて疲れがどっと出てしまい、東京駅についた時は、立ち上がれないほど疲れていました。駅員に頼んでタクシー乗り場まで荷物を運んで送ってもらい、自宅についたら、そのままベッドに倒れこんで、翌日の夜まで昏々と眠っていて、家族は死んだのではないかと時々、見に来たそうです。でも24時間眠ったら、あとは元気になりました。
やはり現場で人間の生命のために実際に愛情と汗を流して働いている方は聞き手としての、まじめさと熱情が違いますね。ひたひたと寄せてくる波のような熱意と将来への強い意志と希望を感じました。

※人間を育てるという最も働き甲斐のある職業と、繰り返し述べられました。

それだけにこちらもち熱のこもったやり取りをして、エネルギーを使い果たしたような、いい意味の、もぬけの殻になったような完全疲労でした。たくさんの方の期待を背負っての事業です。(一部省略)会の発展を祈ります。そして、社会的、政治的にも社会を変えるような力を発揮してください。皆様どうぞよろしく。またどこかで再会を、楽しみにしています。」 暉峻淑子

あと1か月半に迫った参議院選挙で本当の少数与党に追い込み 野党共闘の再起動を！

私は、自作の共産党後援会からの訴え文で、石丸(元安芸高田町長)・斎藤(兵庫県知事)・立花(NHK 党)、そしてトランプ等のことを「ネット世界に、法的整備が追いついていない」ことを利用してデマと誹謗中傷で一時期社会現象を生み出したことは事実だが、2025年という時代が、「ネット空間」の巨大な発展と無法状態が生んだアダ花であって、やがては人々の知恵が現実社会と同様に多くの人々が、安心して暮らしてゆくことが出来る状況に行き着くとの希望的観測を持っている。

一時的(と言っても、数十年単位であるから「自分が生きているうちに・・・」成果を見たいとはならないかもしれない)には、ネットの無法状態が、現実を振りまわすことすら生じている「現在」だが、「幻想」で「現実」を変革することは出来ない。

先の衆議院選挙で与党過半数割れは、しんぶん『赤旗』のスクープした自民党の「裏金」問題、自民党への決定打となった「非公認」候補者への資金供与等ですが《ゆ党》である維新・国民の手助けによって、政治の激動はまだ生まれていません。かつて【パワーが違う】と称された共産党の躍進が生まれるならば、野党共闘の再起動とその先にある政権交代の風景が見えてくると思っています。やるべきことを自分の頭で考えて、《行動》することによって、悔いのない45日を過ごしたいものです。

(村井 義幸)

お詫び 今週の「六文銭」は、お休みします。また、暉峻先生の講演内容の報告は、次回の7月4日になります。